

10 人や国の不平等
をなくそう



♪ゴール10♪

人や国の ふびょうどう 不平等をなくそう

世界の主な目標 もくひょう

- 年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、所得などを理由とした不平等をなくすことをめざしています。
- 不平等は、ある国の中にとどまらず、国と国の中でもなくします。

日本の状況 じょうきょう

- 日本に住む外国人の数は増加傾向にあります^{注1}。



名古屋市の取り組み例 れい)



チェック
だワン!

- 誰もが個性と能力を最大限に發揮し活躍できるよう、高齢者、障害者、女性の活躍推進、多文化共生の推進などに取り組んでいるよ。

マンガで学ぶSDGs



10 人や国の不平等をなくそう



どんな目標？

- 国と国のある不平等を減らす
- 同じ国の中にある不平等を減らす

考えるためのキーワード

- 外国人
- 地域格差
- 東京一極集中



外国人

Q: 日本に住む外国人は増えているよね？

A: 日本に住む外国人は2019年6月末現在で約283万人（愛知県は約27万人）となっており、10年前に比べ約70万人増えています。現在日本では、労働力が不足しており、2019年4月には外国人材を受け入れるための在留資格である「特定技能」が設けられるなど、今後さらに多くの外国人材が日本で働き、生活者として地域に住み続けることが見込まれます。一方で、日本語や生活マナーなどが十分に理解できていないため、ごみ出しや騒音など地域住民とのトラブルが増えている現状があります。

Q: わたしたちにはどう関係しているの？

A: 外国人の増加に伴い外国人と接する機会が多くなっており、地域によっては小学校の児童の約7割が外国人というところもあります。今後も外国人は増加すると見込まれるため、様々な国籍・民族の人たちが違いを認め合い、ともに安心して暮らし、活躍できる多文化共生社会を実現することが重要です。



地域格差

Q: 地域格差ってどんな格差のこと？

A: 「地域格差」とは、自治体間や都市と農村の間に生じる所得や教育、医療、サービスなどの格差のことです。例えば、県民1人あたり所得では、大都市と地方都市で2倍以上の開きがあるところがあります。人口減少が続く地域では、買い物や医療、サービス、公共交通やインフラなどの維持・管理を続けることが難しくなり、こうした地域格差が一層拡大するおそれがあります。

Q: わたしたちにはどう関係しているの？

A: 進学や就職の際の選択肢が多く有利であるとの理由で、若者の東京一極集中が続いています。そのため、地域では高齢化率が上昇し、家庭を持つ世帯が減少するなど、地域の活力が失われることが心配されています。持続可能な地域社会に向けて、国や地方自治体では地方創生や地域格差の解消など、地域の特色を生かした活性化策を講じていますが、都市部との地域格差の解消には十分ではありません。



- ✓ 地域にいる外国人について考えてみよう
- ✓ 地方や地域社会の良いところを見つけてみよう

目標10 愛知 ×SDGsアクション 外国人県民早期適応研修カリキュラム

愛知県では、外国人材の受入企業等が、新たに来日した外国人の方に対し生活支援等として実施できるよう、日本の習慣やマナー、生活者としての日本語を習得するための「早期適応研修」のカリキュラム等を作成・公開しています。

●ホームページ: <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/tabunka/soukitekioucurriculum.html>

